

一般国道40号 幌富バイパス ー開通後3ヶ月(H22.3.15~H22.6.30)の整備効果についてー

幌富・豊富バイパスが、都市間救急搬送や都市間バスの安全・安心な移動に貢献しています。

●バイパス延伸による利便性の向上

幌富バイパスの供用により、自動車専用道路の延長は幌延IC~豊富北IC間27kmになりました。

●位置図

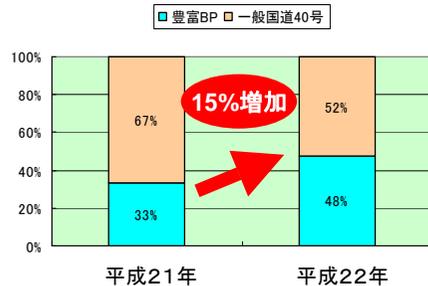


- ・幌富バイパス開通により幌延~豊富町開源間の移動時間が7分短縮されました。
- ・利便性の向上によりバイパスの利用率(分担率)が約15%増加しています。

稚内市内運送業者

- ・豊富バイパスと幌富バイパスが連続した自動車専用道路となったことで、使いやすくなりました。(H22稚内開建ヒアリング調査より)

▼国道40号とバイパスの分担率(4~6月)



●救急搬送の支援

幌富・豊富バイパスは救急搬送ルートとしても利用され、地域の救急医療・高次医療を支援しています。供用以降3ヶ月間では、稚内市から旭川市及び幌延町から稚内市への全ての救急搬送(17件)が幌富・豊富バイパスを利用しました。

北留萌消防組合幌延支署

- ・バイパス利用で搬送時間が10分程短縮し、カーブが少ないこと等で、患者の負担軽減も期待しています。(H22稚内開建ヒアリング調査より)

▼幌富・豊富バイパス利用の救急搬送件数(平成22年3月15日~6月30日)



●都市間バスの安全・安心な走行を支援

バイパス延伸による利便性の向上により都市間を運行するバスが豊富・幌富バイパスへ転換され、速達性や安全性が向上しました。

稚内~札幌間の都市間バス(1日12便)は、幌富バイパス開通直後の4月2日より、豊富・幌富バイパスを走行。

宗谷バス(株)

- ・上下車線が完全分離されており対向車が来ないので安全に走行できます。(H22稚内開建ヒアリング調査より)

▼稚内~札幌間都市間バスの走行ルート

